

http://www.engineer.or.jp/c_dpt/nucrad/

原子力・放射線部会

会報



福島県双葉郡富岡町夜の森地区の桜

福島県双葉郡富岡町夜ノ森（よのもり）地区の桜並木。福島第一、福島第二原子力発電所の中間地点に位置し、除染が進んだ今年から立ち入りができるようになった。

1. 部会長からのメッセージ

部会方針、取組み概要、注力ポイント

P. 2

和田 隆太郎

2. 部会活動状況

2021 年度活動報告

① 活動全般

P. 3

② 大規模災害に対する復興支援活動

P. 3

③ 合格者歓迎会

P. 3

④ 部会会合の回数

P. 3

⑤ 講演会

P. 4

3. 部会幹事の紹介

P. 4

4. 2021 年度全体会議

P. 7

5. 活動トピック

東日本大震災 10 周年企画

P. 7

6. 2021 年度技術士試験 二次試験合格者

P. 8

1. 部会長からのメッセージ

部会方針、取組み概要、注力ポイント

部会長 和田 隆太郎

2019 年に発生した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、2022 年 3 月の現状ではオミクロン変異株による感染ピークの第6波が収束しつつありますが、第7波の来襲が予想されている状況と認識しています。ただ、第6波では重症化率や死亡率が低くなっており、第7波以降は with コロナ活動として本格的な経済活動の再開を見据えて外出行動の抑制を緩和した対策・対応が図られると予想しております。COVID-19 感染拡大対策は人類にとって大きな災いでしたが、一方では従来なかなか踏み込めなかった DX(デジタル変革)に真剣に取り組む機会となり、オンライン会議やウェブナー配信等において一定の普及が図られたのも事実です。

現状で 2022 年度の原子力・放射線部会の確たる活動様式の全容を見通すことは容易ではなく、相変わらず手探りという段階ですが、ここでは当部会活動の取り組みの基本的な考え方と注力ポイントをご説明します。

1. 取組み概要

部会活動は、役員会・例会講演会(6回/年)を軸とし、状況が許せば1~2回の見学会を開催したいと考えております。また、2022 年度の対外活動費予算(特別会計)が承認され、大学等への技術士制度説明会と3月の原子力学会への出展を行う計画です。なお、現状では例会講演会と見学会は WEB 開催を主体する考えです。

2. 注力ポイント

2-1) CPD 行事の WEB 化と着実な推進

当部会では、COVID-19 を契機に MS-Teams によるオンライン会議形式の役員会の開催は定着しました。また、例会講演会の個人への遠隔配信とそれを VTR 録画した Pe-CPD の整備も鋭意推進しております。オンライン会議システムである MS-Teams の情報セキュリティ対策は必ずしも十分ではありませんが、その点に十分に配慮しながら鋭意拡大を図り、地域在住の会員(地域会員)の参加促進を強めたい

と考えています。

近未来的には、例会講演会はハイブリッド開催、すなわち会場でのリアル講演会とオンライン配信を併用した開催形態に移行したいと考えております。しかし、ハイブリッド開催はまだ上手く開催できた事例の方が少なく、今後進めていく中で会場や配信機材等の通信ハードに係る課題の解消を模索していきたいと考えています。

また、一昨年度より構想検討を継続している WEB 見学会も COVID-19 対策に足を取られて十分な進捗を図れていませんが、VR 等のデジタル情報手段を駆使した技術士会での最初の事例として是非とも実現したいと考えています。

2-2) デジタル革命の推進

当部会では WEB・情報管理班を立ち上げ、WEB システムの改革を進めたいと考えています。日本政府はデジタル庁を立ち上げて未来志向の DX(デジタル・トランスフォーメーション)を大胆に推進する姿勢を示していますが、WEB・情報管理班はデジタル庁と同様の活動方針であり、制度・規則の構築を目指します。上述の WEB 化した CPD 行事の推進やマニュアル整備もその1つですが、部会 HP の整備・改革にも取り組んでいきたいと考えています。

2-3) 技術士会の新たな CPD 活動実績の管理及び活用制度への積極参画

既にご連絡の通り、文部科学省の政省令改正の範囲で、技術士会の技術士制度改革が進捗しています。2021 年 9 月の省令改正により、CPD 新制度(技術士の CPD 活動の実績の管理及び活用を可能とする公的な仕組み)が構築され、非会員を含めて CPD 実績管理を運営する事務局「CPD センター」が設置されました。

既に、皆様の CPD 実績の登録ができるようになっており、2022 年 4 月以降に「技術士(CPD 認定)」の認定証が発行されます。また、希望により認定が認められた方の氏名等が本会ホームページ(HP)に掲載されます。5年間の年平均で、基準 CPD 時間は 20 CPD 時間、推奨 CPD 時間は 50 CPD 時間です。但し、毎年 1 CPD 時間以上の倫理の履修が必要で

す。詳細は技術会 HP¹ をご参照願います。

日本政府の原発政策も確たる将来像が見通せず、また、最近ではロシアによるウクライナ侵攻もあり、社会的な不安が残る情勢下ですが、当部会としては技術士 CPD を踏まえた自己研鑽を着実に進めたいと考えています。皆様の今後の技術士としての活動への参加を心待ちしております。2022 年度もよろしくお願ひ申し上げます。

2. 部会活動状況と事例紹介

2021 年度活動報告

幹事 菊池 裕彦

本部への活動報告内容を以下に記す。

① 活動全般

2021 年度の原子力・放射線部会では、2020 年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、活動の縮小を余儀なくされたが、「技術士認知度向上及び技術士数増に向けた活動」や「自己研鑽を推進する活動」を実施するとともに、コロナ禍においても活動を推進するための IT 対応の強化を図った。また、福島第一原子力発電所事故の 10 周年を迎え、特別企画を実施した。

1) 年次大会(全体会合)・委員会活動・幹事会

全体会議を 8 月 20 日に Web 開催し、2020 年度の活動を報告するとともに、活動方針を説明、意見交換を行った。CPD 行事の Web 開催について、地方からでも参加しやすいと肯定的な意見があった。幹事会を Web で 6 回開催し、方針に沿った具体的活動の進め方等について議論した。

2) 講演会等

原子力・放射線部門の技術士として学ぶべき項目として、「福島第一原子力発電所(1F)の廃炉の進捗と技術戦略」などをテーマに計 6 回開催した。

また、福島第一原子力発電所の事故の 10 周年企画として、6 月に「福島原発事故に向き合う」

をテーマに CPD 中央講座(講演及びパネル討論)を開催した。

3) 見学会

計画はしたものの、コロナ禍により延期となった。

4) その他

技術士制度の学生への認知度向上と受験奨励のために原子力又は放射線関係の学科のある大学に対して、技術士会と原子力・放射線部会を紹介するパンフレットを更新し、配布した。また、同様の目的で日本原子力学会春の大会に web 出展した。

原子力、放射線に関する正しい知識の普及のため、原子力学会が進めている学校教科書のレビュー活動に協力した。

② 大規模災害に対する復興支援活動

- 1) 4 月の例会で「福島第一原子力発電所(1F)の廃炉の進捗と技術戦略」をテーマとして講演会を行い、廃炉の状況とそれに向けた技術開発について情報共有し、復興に向けての進捗を確認した。
- 2) 福島第一原子力発電所の事故の 10 周年企画として、6 月に「福島原発事故に向き合う」をテーマに CPD 中央講座を開催し、事故の教訓の反映、原子力のリスクマネジメントに関する講演会を実施するとともに、リスクマネジメントに取り組むために技術士がなすべきことについてパネル討論を行った。

③ 合格者歓迎会

日時: 2021 年 6 月 18 日午後

開催方法: Web

合格者参加者数: 4 名

④ 部会会合の回数

役員会: 6 回

講演会: 6 回

中央講座: 1 回

なお、見学会は企画はし見学先との調整を実施したものの、コロナ禍により延期となっている。

⑤ 講演会

以下の通り 6 回実施した。講演名部分が詳細報告へのリンクとなっている。延べ 371 名に聴講いただくことができた。

第 72 回技術士のタベ	
日時	2021 年 4 月 28 日
講演名	チェルノブイリの今
講演者所属	藤田医科大学
講演者	石川 秀高
参加者数	98
Web 配信	有
資料	

第 73 回技術士のタベ	
日時	2021 年 6 月 18 日
講演名	福島第一原子力発電所(1F)の廃炉の進捗と技術戦略
講演者所属	原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)
講演者	中村 紀吉
参加者数	102
Web 配信	有
前半資料 、 後半資料	

第 74 回技術士のタベ	
日時	2021 年 8 月 20 日
講演名	エネルギーミックスの展望
講演者所属	地球環境産業技術研究機構(RITE)
講演者	秋元 圭吾
参加者数	60
Web 配信	有
資料 、 付録	

第 75 回技術士のタベ	
日時	2021 年 10 月 15 日
講演名	小型モジュール炉(SMR)の開発・建設計画と国際動向

講演者所属	日本エネルギー経済研究所
講演者	木村 謙仁
参加者数	44
Web 配信	有
資料	

第 76 回技術士のタベ	
日時	2021 年 12 月 17 日
講演名	放射線防護の外部被ばくの 2 つの線量概念とその体系
講演者所属	ニュークリア・テクノロジー
講演者	岩井 敏
参加者数	34
Web 配信	有
資料 、 参考資料 1 、 参考資料 2 、 参考資料 3	

第 77 回技術士のタベ	
日時	2022 年 2 月 18 日
講演名	医療用小型加速器の現状と将来展望
講演者所属	東北大学サイクロトロンラジオアイソトープセンター
講演者	渡部 浩司
参加者数	33
Web 配信	有
資料	

3. 部会幹事の紹介

部会の WEB 化促進とその情報管理を企画中です

丸下 元治

【(株)IHI、2012 年合格、役員歴 9 年】

日本技術士会 原子力・放射線部会では、部会組織を大きく

①全般、②WEB・情報管理班、③総務・広報班、④企画班、⑤会計幹事の 5 つに分け各幹事が担当として活動しています。



私は、WEB・情報管理班の副会長と会計幹事を拝命し活動しています。コロナ渦でリアルの活動が制限される中、また今のウクライナ侵攻でも情報管理が非常に重要になってきていると感じています。興味のある方は、部会で一緒に活動しませんか、お待ちしております。よろしくお願いいたします。

各企画へ積極的に御参加ください

勝田 昌治

【東芝プラントシステム、2009 年合格、役員歴 7 年】

ある CPD 見学会の帰り道、「あなたのような若手はもっと中央で役目を果たすべき」と、バス座席で偶然お隣になった方から助言をいただくことができました。当時はその真意をよく理解できませんでしたが、その言葉が心に残り、今に至ります。



この 3 月に合格された皆様、おめでとうございます。まずは CPD や講習会等の企画へ積極的に参加されることをお勧めします。また幹事は、部会員の活動支援が重要な役割の一つですので、意見や悩みがあれば気軽にお声掛けください。皆様と共に活動できること楽しみにしております。

Web見学会を企画中です

岩原 光太郎

【日立GEニュークリア・エナジー(株)、2017 年合格、役員歴 3 年】

COVID-19によって、働き方や生活が大きく変わりました。原子力・放射線部会では、ニュー・ノーマルに対応する試みとして、見学会のリモート(Web)開催を計画しています。私はその企画グループのリーダーを拝命し活動しております。今はコロナの影響で少し減速しておりますが、見学先との調整を継続しています。今年度の早いうちに何とか実現したいと思っておりますので、興味がある方はぜひご参加ください。



母校での技術士説明の方を募集中です

山田基幸

【原子力発電環境整備機構、2006 年合格、役員歴 6 年】

3.11 以降、原子力業界に対する学生人気も低迷し、将来への技術伝承を憂う状態になっておりますことから、何とか原子力業界を支える人材の確保や育成に役立ちたいとの考えで、微力ながら、特に大学生等への技術士説明を中心に取組んでおります。部会員の皆様で、例えば「母校の恩師等を通じて説明の機会を働きかけてみよう」と協力いただける方がおられたら是非ご連絡をお願いいたします。資料やこれまでの経験等でのサポートをさせていただきます。よろしくお願いいたします。



3.11 以降、原子力業界に対する学生人気も低迷し、将来への技術伝承を憂う状態になっておりますことから、何とか原子力業界を支える人材の確保や育成に役立ちたいとの考えで、微力ながら、特に大学生等への技術士説明を中心に取組んでおります。部会員の皆様で、例えば「母校の恩師等を通じて説明の機会を働きかけてみよう」と協力いただける方がおられたら是非ご連絡をお願いいたします。資料やこれまでの経験等でのサポートをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

技術士の CPD 充実に向けて

青山 敬

【富士電機、2010 年入会、役員歴 7 年】

原子力分野や医療分野の放射線計測機器の設計開発や JIS 並びに国際規格(IEC)の標準化活動に従事してきました。電力業界、産学界の多くの方々から学んだことを生かして今後の科学発展に貢献できればと思います。



技術士会では自分自身の自己研鑽と合わせて CPD を充実させて技術士が学び続ける場を提供できるように活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

お役に立てることでお手伝いします

白柳 春信

【東京電力OB、2019 年入会、役員歴半年】

原子力発電事業に 30 数年間従事し、産業界、地元関係者、政府の関係する方々から多くのことを学びました。その間に覚えた技術、知識、経験を、何らかの方法で生かしたいと考えたのが技術士会入会のきっかけでした。若い技術士の皆さんのお役に立てることができれば嬉しく思います。



技術士会でのお手伝いに加えて、福島復興を少しでも後押しすることが、私の残された課題です。

新鮮な例会講演会を企画していきます

原子力・放射線／総合技術監理(2012 年度 技術士取得)

2020 年度より幹事を拝命し今年度からは企画担当として活動させて戴いています。活動のスタンスとして出来る限り多くの部会員が参加できる企画をと、考えていきたいと思っています。



また、運悪く幹事を拝命してからコロナ禍の影響で直接人と接する機会が極端に減っていますが、色んな意味でのコミュニケーションを取りながら、部会員の方々が活動しやすい部会も目指していきたいと思っていますので宜しくお願い致します。

一所懸命取り組みます〇〇〇〇〇〇〇

白川 正広

【富士電機、2008 年合格、役員歴 10+1 年】

部会発足以降 10 年間幹事でした。定年を視野に個人技術士として独立するにはと問題意識を持っていました。2016 年に定年を迎え、時間の余裕ができ、民法や行政法等を勉強し行政書士となりました。技術士と二足の草鞋で皆様のお



役に立ちたいと思っております。特に、原子力・放射線部会の技術士のメンバーを見渡しますと、現役バリバリの方もいらっしゃると思いますが、むしろ定年年齢を過ぎた方がご活躍されているようです。それぞれが努力できる範囲で、部会を盛り立てていければと考えております。よろしくお願い致します。

青森地域の窓口です

鈴木将文

【青森県、2017 年合格、役員歴 2 年】

2017 年に技術士登録して間もなく、2019 年 10 月に青森地域で原子燃料サイクル関連施設の見学会がありました。その見学会に参加したことが縁で青森地域連携リーダーとなり S 幹事になりました。青森県では、再処理工場をはじめとした原子燃料サイクル施設、東通原子力発電所が立地されているほか、使用済燃料中間貯蔵施設、大間原子力発電所が建設されています。これら原子力施設等で活躍する技術士の支援・連携に努めてまいります。



部会と部会員の橋渡しを

菊池 裕彦

【三菱重工業、2013 年合格、役員歴 5 年】

3.11 の後、原子力の信頼回復と復興に向けてできることはないかと考え、技術士を受験しました。現在、実務としては、原子力発電所の安全性向上にかかわる設備設計や廃炉関係の仕事をしております。役員としては、本会報の編集や部会活動報告書の作成など、部会活動の発信に関連する活動をしております。あいにく、コロナ禍により、会員同士のコミュニケーションも取りにくくなっておりますが、部会活動をより身近に感じていただくための情報発信に努めたいと考えております。



4. 2021 年度全体会議

2021 年度は以下のとおり開催した。

日時:2021 年 8 月 20 日

場所:Web 開催

内容:

- (1) 令和 2(2020)年度の活動報告(事業報告等)の説明
- (2) 第 1 号議案 令和 2(2020)年度の決算報告(案)について
- (3) 第 2 号議案 令和 3(2021)年度事業計画および予算(案)について

資料:

- [2020 年度活動報告\(PDF ファイル 2225KB\)](#)
- [第 1 号議案資料-2020 年度会計の決算報告\(PDF ファイル 1220KB\)](#)
- [第 2 号議案資料 1-2021 年度の事業計画案\(PDF ファイル 1506KB\)](#)
- [第 2 号議案資料 2-2021 年度の予算案\(PDF ファイル 53KB\)](#)
- [17 回全体会議議事録\(PDF ファイル 1080KB\)](#)

5. 活動トピック

～東日本大震災 10 周年企画(白川幹事)～

本年度は、福島第一原子力発電所事故から 10 年の節目に当たりました。以下の点に焦点を当て、CPD 中央講座「福島第一原発事故に向き合う」として講演とパネルディスカッションの行事を企画致した。

「福島第一原子力発電所事故から 10 年を経て、原子力分野の専門家は原子力技術が社会要求に応え 続けるための技術改革の継続とリスクマネジメントの高度化を継続している。事故の経験と技術の進展によって、変化する安全レベルを考えるものとして社会の要求を先取りしたリスクマネジメントが行われている筈だが、現状は他分野の科学技術の専門家からもそのように は認知されていない場合がある。また、一般市民には信頼を得ることができず、安全と説明されても専門家の安全性向上対策

への取り組みが足りていないとと思っているため安心感を得ていない場合がある。一体、このギャップはどこに原因があるのか？ そこには科学技術の視点に加えて、社会技術の視点の取り込むことが必要である。加えて社会的要求 に応えようとするのは原子力技術だけではないため、他の技術分野との融合と理解することも必要である。さらに近年は、AI、IoT などの情報技術の目覚ましい発展で世の中が大きく変わりつつある。すわなち、社会的な視点と共生および他の技術分野の優れた技術の取り込みが課題である。この講演では上述の背景や現況および原子力以外の技術分野の自然災害、地球温暖化、コロナウィルス感染拡大、航空機事故等でのリスクマネジメントの事例を概説頂くとともに、原子力技術の目指すべき社会要求に応えるリスクマネジメントのあり方と今後取り組むべき課題について解説頂く。」

◆講演1 福島第一原子力発電所事故の教訓反映
～自主規制の定着と発展に向けて～

JANSI・事業戦略本部長 平岡 洋一 氏

https://www.engineer.or.jp/members/c_dpt/nucrad/topics/007/attached/attach_7990_6.pdf

◆講演2 社会要求に応える原子力技術のリスクマネジメント

横浜国大・リスク共生社会創造センター 野口 和彦 先生

https://www.engineer.or.jp/members/c_dpt/nucrad/topics/007/attached/attach_7990_7.pdf

◆企画イベント

・部会報告 募集手記「技術士として福島復興に寄せる想い」を概要報告する。

・パネル討論「リスクマネジメントに取り組むために技術士がなすべきこと」パネラー6名

https://www.engineer.or.jp/members/c_dpt/nucrad/topics/007/attached/attach_7990_8.pdf

◆視聴者アンケート報告

https://www.engineer.or.jp/members/c_dpt/nucrad/topics/007/attached/attach_7938_7.pdf

6. 2021 年度技術士試験 二次試験合格者(敬称略)

【原子炉システム・施設

2001 A0001 河本貴寛

2001A0003 柴田拓

2001B0013 住川隆

2001 B0014 太田武

2001C0002 番家拓郎

【核燃料サイクル及び放射性廃棄物の処理・処分】

2002 B0007 中村雅弘

2002M0002 小池上一

【放射線防護及び利用】

2003 B0005 森孝弘

【総合技術監理部門】

・原子力・放射線－原子炉システム・施設

212001 C0002 中野誠

・原子力・放射線－放射線防護及び利用

212003 B0001 藤森幸一

!